

地域を元気に!!

「市民活動団体」と「伝統芸能継承団体」を “応援”します！

全国的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ始め、今後は、これまで制限されていたさまざまな地域活動が再開されます。

そこで、地域で活動している市民活動団体や伝統芸能継承団体について、一部ですがご紹介します。

市民活動団体

じゃわめき隊プロジェクト

五所川原第一高等学校と五所川原商業高等学校の生徒たちが地域活性化やにぎわい創出のための活動をしています。これまで地域のお店と協力しながら「アップルカスタードおやき」や「赤〜いりんごを使用したキャラメルと紅茶のケーキ」の商品開発などを行っています。



伝統芸能継承団体

金木さなぶり荒馬保存会

昭和56年に県無形民俗文化財に指定された「金木さなぶり荒馬踊」を後世につないでいくため、金木町虫送りのほか、福祉施設のイベントなどで披露しています。



市に登録している市民活動団体は、市ホームページでご覧いただけます。

地域を活気づける活動や、地域資源を守りながら絶やすことなく
伝統文化を後世に継承する活動に取り組む団体を支援します！
詳細については、4ページをご覧ください。



今月号の表紙

〔地域を笑顔に！ 五所川原第三中学校 530ボランティア活動〕

今月号の表紙を飾ったのは、5月30日に行われた五所川原第三中学校「530(ごみゼロ)ボランティア活動」の様子です。

当日は、みどり町全域を対象に1年生が地域清掃を、2・3年生が各家庭から出された空き缶やペットボトル、新聞紙などのリサイクル品の回収を行いました。

ボランティア委員長の高橋寿綺さん(3年)は「地域の方が協力してくれたので、次はもっと多く回収したい」、ほかの生徒たちも「地域の方が笑顔だったので、続けていきたい」と話しました。

秋元裕教校長は「学校活動として行うことで、生徒の姿を地域の方々に見てもらいたい」と話しました。



リサイクル品をトラックに運ぶ生徒たち